

平成 25 年度川崎町社会福祉協議会事業報告

総括事業報告

平成 25 年度事業では、地域福祉を推進する中核的な団体として、一人ぐらし・高齢者世帯、認知症高齢者、障がいを持っている方など、「誰もが自分らしく安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を基本に、住民の生活を総合的に支援するため地域福祉・介護サービス事業に積極的に取り組んでまいりました。

東日本大震災より 3 年が経過しましたが、被災地では、今もなお復興に向け取り組んでおります。しかし、時間の経過とともに、住民の皆さんから薄れてきている現状でもあります。3.11 の教訓から、災害時において、安心・安全な避難や、要援護者の把握など防災に対しての意識を身に付けるために、研修会や訓練、防災福祉マップ作成事業に取り組んでまいりました。

事業計画で示した 3 つの重点目標については、本会が目指す目標に向かって、具体的な事業実施項目を掲げ次のとおり活動を展開してきました。

1. 『地域見守りネットワーク』の基盤づくりと高齢者の人権を守る活動について

安心カード(緊急時連絡カード)の設置と整備については、民生児童委員協議会と協働で事業を展開し、関係機関とのネットワークづくりに努めてまいりました。認知症見守りネットワークについては、認知症地域推進員が中心となって、認知症支援相談員の養成や、介護している家族への介護教室の開催も行い、認知症高齢者だけではなく、家族への支援も行い、認知症の理解への啓発を地域包括支援センターと連携し、事業の展開を図りました。

また、町内のボランティア団体等の活動実態を把握するため、状況調査を実施しました。今後は、ボランティア団体等との情報交換会を定期的に行い、情報交換の場作りや、ネットワークの構築を図りながら、地域の活動につながる取り組みをしていきます。

2. 「防災福祉マップ作成事業」の推進と、要援護者の把握と要援護者台帳の整備について

川崎町内においても、自主防災組織づくりが進められており、各地域においても防災に関する取り組みが検討されております。社協では、自主防災組織活動の一環として、災害時における要援護者の把握、避難所への安全ルートの確保を図ることで地域でのつながりを図ることを目的に推進してきました。25 年度では、2 行政区が防災福祉マップ作成事業に取り組みました。防災に関する専門的なアドバイスもいただけることから、今後も引き続き NPO 法人と連携を取り、事業の展開に努めます。

ケアネット活動・有償ボランティア活動(見守り、生活支援)については、少子高齢化とともに一人ぐらし高齢者世帯も増加し利用者も増え、公的サービスではできない在宅福祉サービスの一つとして大きな役割を果たしており、それを担うボランティアの確保が必要とされます。しかし、まだまだボランティアの登録が足りずに、ニーズに合わせた支援が継続できない現状もあるため、今後も、引き続き、ボランティア活動への協力呼びかけや、講座や啓発を行い、ボランティアの充実に努めます。

3. 介護保険事業運営（居宅介護・訪問介護・通所介護）及び放課後児童教室運営について

介護保険事業については、住み慣れた在宅での安心した生活が出来るように、利用者のニーズに合わせたサービスの提供に努めました。デイサービスセンターにおいては、機材の老朽化に伴い、利用者が安全に入浴できるよう、環境整備も整えました。また、事業の PR 活動として、情報公表制度やホームページ等で事業の紹介などを積極的に PR に努めたところ、全国誌（月刊デイ）に掲載されました。

児童教室の運営については、3 年目を迎えますが、年々登録児童数が増えてきており、それに合わせて、指導員を増加しながら安心・安全に子供達を預かり、情操を豊かにするための育成を行っています。

地域福祉との連携については、ボランティアの活動の拠点、児童生徒の福祉教育の施設として交流だけでなく、キャップハンディ体験学習会等により福祉意識の高揚を図りました。また、高校生対象としては、柴田農林高川崎校の年間授業の一環として、「家庭看護・福祉」の授業への協力を行い、実技・演習を行いました。

1). 法人運営部門

25年4月～26年3月

事業名 (実施日)	内 容	備 考
1.法人全体の運営	<p>1)会議・監査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会(4回) 4/1、5/22、12/18、3/20 ・評議員会(3回) 5/23、12/19、3/25 ・監事会 5/17 ・助成団体監査(町監査員) 8/9 ・外部監査(税理士会計事務所による月次監査)毎月実施 ・県南地域社協連絡会総会(蔵王町) 4/17 ・社協活動全国会議(仙台市) 6/24、25 ・県南地域社協連絡会研修会(名取市) 9/27 ・仙南地域社協事務局長会議(大河原町・白石市) 11/21、2/26 ・県内市町村社協地域福祉担当者会議(仙台市) 12/9 ・市町村社協 VC 担当者課題共有会議(角田市) 7/18 ・川崎町児童教室運営協議会(川崎児童教室) 6/25、1/27 ・要保護児童対策地域協議会会議(センター) 7/25 1/28、2/26 ・市町村社協会長・局長会議(松島町・仙台市) 6/13、14、1/9、3/6 ・県内社協災害救援に関する協定締結のための会議(柴田町) 10/2 <p>2)研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法人研修・職員研修 ・事業所管理者研修(仙台市) 6/25 ・算定基礎説明会(大河原町) 6/18 ・労務管理相談会(柴田町) 6/20 ・県内社会福祉協議会職員の基礎勉強会(仙台市) 6/27、7/4 ・防災・福祉学習カフェ in しばた(柴田町) 7/1 ・事務担当者職員研修(仙台市) 8/8 ・宮城県ケアマネージャー協会仙南支部総会(大河原町) 7/8 ・まもりーぶ生活支援員全体研修会(仙台市) 7/19 ・認知症ケア向上研修会(大河原町) 7/24、8/30 ・指定障害者福祉サービス事業者等集団指導(仙台市) 6/27、3/19 ・指定介護サービス事業者集団指導(大河原町) 8/2、5、8 ・災害ボランティアセンターHP 運用説明会(仙台市・岩沼市) 7/18、10/31 ・ボランティアコーディネーター研修(仙台市) 7/29、 	

30

- ・栄養・調理部門職員研修会(仙台市) 10/4
- ・褥瘡ケア研修会(大河原町) 10/9
- ・デイサービスセンター課題研究会(仙台市) 10/18
3/27
- ・介護職員研修会(仙台市) 10/24
- ・リスクマネジメントセミナー(仙台市) 1/31
- ・地域包括ケアシステム研修(仙台市) 3/24
- ・日常生活自立支援事業市町村社協担当者会議(仙台市) 12/5
- ・まもりーぶ生活支援員地域別研修(柴田町) 1/16
- ・大規模災害に備える研修会(柴田町) 2/3
- ・介護支援専門員更新研修(仙台市) 9/12、20、30
- ・介護支援専門員実務従事者基礎研修(仙台市)
9/4、5、6、17、18
- ・介護予防研修会(仙台市) 7/8、8/26
- ・市町村社協経理セミナー(仙台市) 12/11
- ・生活福祉資金事業担当者説明会(仙台市) 11/22
- ・安全運転管理者講習会(柴田町) 6/12
- ・仙南地域生活福祉就労支援協議会(白石市)6/14
- ・高齢者権利擁護講演会(大河原町) 11/1
- ・宮城県社会福祉大会(仙台市) 11/5 8名受賞
宮城県知事表彰(褒状)
社会福祉事業篤志奉仕者… 中村 とみ子氏
宮城県社会福祉協議会会長表彰
社会福祉協議会役職員功労者…宮崎 功氏
優良企業功労…(株)丹野林業建設
宮城県社会福祉協議会会長感謝状
ボランティア功労者…小林 祝男氏
宮城県民生委員児童委員協議会長表彰
民生委員児童委員功労者…米澤 美恵子氏、
大宮 浩子氏、追木 三郎氏、佐藤 秀子氏
- ・認知症地域支援推進員研修(仙台市) 10/31、
11/1、2、
- ・年末調整説明会(大河原町) 11/19
- ・高齢者孤立防止講演会(仙台市) 1/29
- ・仙南地域自立支援協議会(大河原町) 2/28
- ・ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会(仙台市)
12/2
- ・年金委員研修会(大河原町) 11/21、3/14
- ・感染症対策研修会(大河原町) 12/4
- ・ボランティア保険事務説明会(柴田町) 3/17
- 職員全体研修
- ・職員全体会議毎月 21 日開催
- ・腰痛予防について(講師:アルパイン川崎) 6/18
- ・摂食・嚥下について(講師:(株)大塚製薬工場 佐藤
文範氏) 7/19
- ・感染症対策マニュアルについて(職員勉強会)8/21

	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアについて(講師:T&K ティーアンドケー(株)営業部 大塚 俊宏氏) 9/20 ・安全運転講習(講師:大河原警察署交通安全課 大沼係長) 11/21 ・介護ロボについて(講師:アサヒサンククリーン訪問入浴事業所) 1/20 ・KYT 危険予知訓練(グループワーク) 2/21 <p>3)社協会費の加入増推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会費数 2,415 件 ・賛助会費数 57 件 ・団体会員数 6 件 <p>(P19～P20 参照)</p>	
--	---	--

2). 地域福祉活動推進事業

1. 福祉のまちづくり事業

事業名	内容	備考
1. ‘ボランティアフェスティバル’の開催	<p>地域で支えあうボランティアの推進と、ボランティア団体、地域住民のふれあい交流を図ることを目的に開催 8/24</p> <p>[内容]</p> <p>ふれあいコンサート(ヒップホップダンス、スコップ三味線、モッコーズの演奏、川内太鼓披露)チャリティーバザー、24 時間テレビ『愛は地球を救う』募金活動、遊びコーナー、キューブキャンドルコーナー、抹茶コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者 約 200 名、協力ボランティア 89 名 ・24 時間テレビ募金額 108,068 円(ミヤギテレビ) ・チャリティーバザー売上義援金として 50,350 円(東日本大震災みやぎこども育英募金) ・川崎町ボランティア友の会作品販売義援金として 17,960 円(歳末たすけあい運動募金) <p>(P21 参照)</p>	
2.地域福祉支援事業 見守りネットワークの確立	<p>住みなれた地域で安心して暮らしていくために、今後何が必要とされるのか、行政と地域と社協が共に考え、事業を展開していく。</p> <p>1)認知症になっても安心して暮らせることが出来るような支援をしていくために「高齢者地域見守りネットワーク」の計画と認知症サポーターの養成を行い、地域においての見守りを図ることを目的に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症キャラバンメイト連絡会(福祉センター) 9/13 10/11、10/22、3/5 ・認知症サポーター講座プレゼン(商工会) 3/28 ・認知症地域支援推進員研修(仙台市) 10/31、 11/1、2 ・介護予防フェスティバル(健康福祉センター) 11/30 ・川崎町認知症施策総合推進事業担当者会議(福祉セ 	

<p>世代間交流事業</p> <p>懇談会</p> <p>テントの貸出し</p>	<p>ンター) 3/19、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守りネットワーク事業委員会(福祉センター) 12/10 <p>2)防災福祉マップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支倉上下行政区(支倉伝承館) 1/14、3/9 <p>3)子供から高齢者まで幅広い活動が行えるような事業の展開や、小地域の活性化を図ることを目的に支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡幼稚園 わらすこ広場 10/22 <p>4)行政区へ社協事業等の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支倉台行政区(支倉台分館) 7/30 <p>5)共同募金会より住みよい地域づくり支援事業で配分を受けたテントを町内の企業や行政区等へ貸し出しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テント(2張) 1件 	
<p>3.新たな福祉サービス等の企画、研究事業・広報事業・福祉懇談会</p>	<p>1)防災福祉マップ作成事業</p> <p>自主防災組織での取組みの一環として、災害時において要援護者の把握や避難所への誘導など、地域の皆さんが必要とする情報をマップ(地図)に落とし、今後の災害に備え役立ててもらふことを目的に各行政区で開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支倉上下行政区(支倉伝承館) 1/14、3/9 (P21 参照) <p>2)福祉教育推進事業</p> <p>福祉教育をとおり、児童、生徒の社会福祉に対する関心や、思いやり、奉仕する心を育て、地域社会全体に福祉の輪を広げ、福祉のまちづくりの推進を図るため、小・中学校への支援を行う。(1校あたり20,000円の助成)</p> <p>3)ボランティア・NPO・団体等状況調査</p> <p>町内のボランティア団体、NPO、各団体の活動実態を把握し、今後、ネットワークの構築や情報交換の場を図ることを目的に情報調査の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13団体より回答あり。 <p>4)社協だより(4月、7月、10月、1月発行)</p> <p>ホームページでの広報、更新。(ブログについては、事業を行った際に、随時、活動を掲載している)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに「ブログ」、「アルバム」コーナーを設置 定期的な情報発信を行う。 	
<p>4.住民、当事者、社会福祉事業関係者の連絡調整</p>	<p>居宅介護支援、介護支援事業所等、苦情受付等により連絡調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情 3件 	
<p>5.男の料理教室</p>	<p>1)調理をとおり、男性自ら「食」について興味を持ち自分で作る楽しさと、バランスの取れた食事の重要性を学びながら、団塊世代の方などを対象に、地域の仲間作り、相互支援を図る。 6/15、10/5、3/1</p>	

<p>事業への協力呼びかけ</p>	<p>2)男の料理教室参加者へ、社協事業へのボランティア協力の呼びかけを行い、活動の場を広げ、事業の展開を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方落語チャリティーさなぶり寄席の協力(山村開発センター) 6/23 ・東日本‘花緑’復興プロジェクト(水仙の植え付け)の協力(みちのく杜の湖畔公園) 11/9 ・ほのぼの会食会調理ボランティア依頼協力 3/13 	
<p>6.民生委員・児童委員活動の推進と連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民協定例会(毎月20日開催) 4/19、5/20、6/20、7/16、8/20、9/25、26、10/21、11/20、12/20、1/20、2/25、3/20 ・宮城県民生委員児童委員協議会会長研修(仙台市) 6/5、6 ・ひとり暮らし高齢者緊急時連絡先調査と台帳整備 ・要支援者マップ作成 ・安心カードの設置・更新 ・通学路安全マップの活用(グループワーク) 6/20 ・民生委員・学校・警察関係者懇談会(福祉センター) 7/16 ・9.1 川崎町総合防災訓練へ参加(B&G 海洋センター) 9/1 ・視察研修(岩手県) 9/25、26 ・児童見守りパトロール(毎月定例会開催日、小・中学校訪問声かけ) ・社会を明るくする運動(7月学校訪問) 7/16 ・児童福祉部会活動(通学路・公園遊具等点検)6/20 ・高齢福祉部会活動(高齢者向け住宅視察) 7/16 ・生活福祉部会活動(事例検討会) 10/21 ・民生委員・児童委員退任式(福祉センター) 12/2 ・民生委員・児童委員委嘱状伝達交付式(福祉センター) 12/2 ・新任民生委員・児童委員研修会(大河原町) 2/20 	
<p>7.小中高校・警察・福祉関係者連絡会議</p>	<p>民生児童委員と学校関係者、警察との連絡会議を開き、地域と学校の連絡を密にし、児童生徒の健全育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/16(ケースごとに協議も行う。) 	
<p>8.高齢者等の支援事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1)一人暮らし高齢者に対する「非常持ち出し袋」配布事業 70歳以上の高齢者に対し、災害時において、必要最低限の物を入れた「非常持ち出し袋」を配布し、災害時に備えてもらう 12/20、19名対象 2)一人暮らし高齢者のつどい「ほのぼの会」の開催 65歳以上の一人暮らし老人を対象に会食をしながら、消費生活の知識、食生活、健康管理相談を行い趣味の会の結成、孤独感の解消、健康保持、老人同士の親睦を図る。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほのぼの会」(松島町) 10/30 参加者 48名 協力者 9名 ・「ほのぼの会食会」(福祉センター) 3/13 一人暮らし高齢者の安全な生活について(講師:大河原警察署川崎駐在所長 石川 和夫 氏) アトラクション「ハッピーマジックショー」(ハッピーマジッククラブの皆さん) 参加者 32名 協力者 12名 (P21 参照) 3)一人暮らし高齢者に対する「安心カード」の設置 一人暮らし高齢者や要支援者の緊急時連絡先の調査を行い、「安心カード」を作成し、緊急時のネットワークを図る。 ・随時民生委員より配布 4)消費者被害に遭わないための勉強会 一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に、「おれおれ詐欺」や、訪問販売被害に遭わないための勉強会を開催。また、民生児童委員や、ホームヘルパー、ケアマネによる訪問時の啓発、呼びかけも行う。 ・10/30、3/13 5)一人暮らし高齢者世帯のスノーバスター活動 一人暮らし高齢者や、高齢者世帯を対象に、中・高学生の雪かきボランティア活動支援を行う。 ・青根地区、笹谷地区 2/11 対象者 3件 柴農高校生 13名、民生委員 1名、2/23 対象者 5件 川中学生 15名、民生委員 1名 6)ケアネット活動(有償ボランティア活動) 一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、見守り・安否確認訪問や、有償ボランティア活動で掃除、整理整頓、窓拭き、障子貼り、調理、草むしり等、の支援を行う。 ・利用者数 6名 ・活動件数 75回 ・活動内容 調理、掃除、草むしり等 7)寒糶作りの開催 栄養バランスの取れた食生活をするこゝで、食生活の改善を図るとともに、寒糶をとおして地域のネットワークづくりを目的に開催。 ・1/25 参加者 42名 	
9.障害児者の福祉に関する支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 1)青少年健全育成対策事業 町内小中学校の支援学級へ通う児童・生徒を対象に障害児教育の一環として活動する学級活動(社会見学・町内特殊学級交流会等)に助成し、各家庭への負担の軽減を図る。(1名あたり 6,000円の助成) ・川崎小 4名、第二小 2名、前川小 1名、川崎中 1名、富岡中 2名 	

<p>10.子供見守り事業</p>	<p>1)児童の事故防止、防犯対策用品を贈る。新入学児童へ防犯ブザー、蛍光傘の配布 ・新入学児童 71名へ配布</p> <p>2)「こどもパトロール」町内巡回。見守り活動『こどもパトロール』マグネットを民生児童委員、社協の車両に貼り付け、ヘルパー訪問移動時、デイサービス送迎時等、見守りパトロールを行う。</p> <p>3)民生児童委員による毎月 1 回小中校登校時に街頭声かけを行う。(毎月 20 日)</p> <p>4)クマ除け鈴の配布 クマの出没が町内で相次いだため、町内の小中学校へ鈴の携帯状況を調査し、配布されていなかったことから、小中学校に対し、子供見守り事業の一環として、クマ除け鈴を配布 ・対象校 6校 144名</p>	
<p>11.子育て支援事業 児童教室運営(受託)</p>	<p>1)川崎町児童教室の受託運営 放課後における小学1年生から6年生までの昼間保護者のいない家庭の児童に健全な遊びを通して、個別的または集団的に指導し、情操を豊かにするための育成を行う。 ・川崎児童教室登録児童者数 61名 ・今宿児童教室登録児童者数 18名 ・基石児童教室登録児童者数 13名</p> <p>2)交流会等 ・3 教室合同ハッピーマジックショー(福祉センター) 8/19 ・3 教室交流わくわくどきどき実験室(川崎児童教室) 8/3 ・3 教室合同サッカー教室(川崎小体育館) 8/9、12/26、3/27 ・天文台見学(仙台市) 8/22、23 ・3 教室交流お楽しみ会(川崎児童教室) 12/26 (P23~P24 参照)</p>	
<p>12.災害見舞(年間)</p>	<p>不幸にして火災や、災害等で住宅が損壊した世帯に見舞金を贈る。全焼、全壊、半壊、社協より 10,000 円、共同募金委員会より 30,000 円 ・火災により全焼 見舞金、弔慰金 0件</p>	
<p>13.交通・海難・労災 遺児支援助成事業</p>	<p>交通・海難・労災遺児を対象に、生活上の経済面において助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図る。 1名 6,000 円の商品券として贈呈。 ・18歳未満の遺児 5名</p>	
<p>14.善意銀行運営</p>	<p>町民の善意(労力、技術、物品、現金)の預託と払出を行い、町民の福祉の向上を図る。また、火災や災害等、被災にあった家庭に対し、寝具類等物品の払出を行う。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・預託(物品・現金) 26件 ・払い出し(食材・物品) 15件 ・ふれあい福祉基金募金自動販売機による寄付(4月～3月)みやぎ仙南農業協同組合、(株)サン・ベンディング東北 募金額 38,284円 ○指定寄付 ・東日本大震災みやぎこども育英募金へ義援金として 1件 500,000円(東方落語を呼ぶ会) (P25～P26 参照) 	
--	--	--

2. ボランティア活動推進事業

事業名	内 容	
1. ボランティアや住民活動の振興、支援策の企画、活動支援	<p>1) ボランティアセンター事業 ボランティアの活動促進を図るため、ボランティア相談、情報提供ボランティア活動者のためのボランティア保険加入や窓口対応等、ボランティア活動の啓発・相談業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険加入 18件(435名) ・ボランティア・福祉活動行事保険加入 9件(2,540名) <p>2) ボランティアサマーフェスタの開催 8/24</p> <p>3) ケアネット活動(有償ボランティア活動) 地域住民の皆さんで支えあうあったかい地域づくりを目指しながら、小地域での活動の活性化につなげるため、ケアネット活動の浸透、ボランティアの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 6名 ・活動回数 75回 	
活動団体への協力・支援	<p>4) ボランティア活動呼びかけ、活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下流交流事業への協力(自然共生園) 7/5 ・かわさき自然塾への協力(るぽぽかわさき)柴農川崎校生徒協力。 8/7 6名参加 ・釜房湖畔トレッキング&芋煮参加(旧川内小学校) 10/12 参加者約30名 ・東日本‘花緑’復興プロジェクト(水仙の植え付け)の協力(みちのく杜の湖畔公園) 11/9 ・学校支援ボランティア日程調整: 前川小学校 豆腐作り ボランティア岡伸子氏 2/28 <p>5) 被災地への支援活動・ボランティア団体への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援物資協力の依頼(新聞折り込みで呼びかけ) 2回チラシ配布 1件呼びかけ 31件の協力あり ・ひまわりの会への活動協力(みなし仮設住宅者へのサロン活動等) 10/22 ・東方落語チャリティーさなぶり寄席への協力(山村開発センター) 6/23 東日本大震災みやぎこども育英募金へ義援金として寄付 500,000円 	
収集ボラ活動	6) 使用済み切手、書き損じハガキ、使用済みテレホンカ	

	<p>ード、ペットボトルキャップ等、取りまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者(延べ件数) 81 件 NPO 法人誕生日ありがとう運動本部へ送付 (P27 参照) 	
2.情報収集・提供体制の企画	<p>1)各ボランティア団体と連携しながら、情報交換、協力、支援を行い、情報の共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・各種団体及び NPO 団体等の活動調査の実施 13 団体より回答あり。 ・ボランティア団体・NPO・各団体等情報交換会(福祉センター) 12/25 <p>2)広報・ホームページ等でボランティアの呼びかけ、募集を行い、住民にボランティア情報の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報(年間 4 回発行) ・ホームページ(定期的に更新、情報発信) ・ブログにて活動内容の紹介 	
3.人材育成・研修事業の企画	<p>福祉のまちづくりの基盤であるボランティアの開拓と育成について次のような研修会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生雪かきボランティア養成 2/11、23 ・デイサービスボランティア 随時 ・有償ボランティア(登録ボランティア) 随時 ・災害時に関する研修会(講師:亘理町社会福祉協議会 佐藤 寛子氏) 3/10 	
4.活動支援ネットワーク化の促進、登録・斡旋業務	<p>1)ボランティア登録カードの作成と登録促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア友の会登録者 27 名 ・有償ボランティア登録者 32 名 ・ボランティア登録者 435 名(災害ボラ含む) 	
5.災害ボランティアセンター立ち上げ等、防災・災害救援体制の確立	<p>1)災害ボランティアセンターの役割や活動の流れなど、住民の皆さんへ重要性を理解してもらい、参加協力を図りながら、周知していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キューブキャンドル作り(支倉台分館) 11/27 ・9.1 川崎町総合防災訓練(B&G 海洋センター)9/1 ・災害時に関する研修会(講師:亘理町社会福祉協議会 佐藤 寛子氏) 3/10 <p>2)災害ボランティアセンターの相互支援に関する協定では、県南 4 市 9 町での協定、仙台都市圏域 5 市 9 町 1 村での協定を締結。災害時において被災地社協への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台都市圏域市町村社協災害 VC 協定担当者会議(名取市・松島町) 11/6、1/17、 ・仙台都市圏域市町村社協災害 VC 協定幹事会(仙台市) 9/11、2/5 ・仙台都市圏域市町村社協災害 VC に関する研修会(仙台市) 2/5 <p>3)被災地への支援活動を町内のボランティア団体が継続</p>	
被災地支援活動		

	<p>的に活動をしており、その活動支援協力を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなし仮設住宅者への支援活動:ひまわりの会のサロン活動へ同行(名取市) 10/22 ・東日本‘花緑’復興プロジェクトの協力(みちのく湖畔公園) 11/9 12名参加 ・青根温泉雪あかり・亙理町民ご招待ツアー(みちのく湖畔公園・青根温泉街) 2/9 ・東方落語チャリティー寄席(山村開発センター) 6/23 義援金として東日本大震災こども育英募金 500,000円寄付 ・支援物資等(地場産品:野菜等も含む)呼びかけ 町内の皆さんより物資の提供 3件 (P28 参照) 	
6.福祉教育推進事業	<p>福祉教育をとおり、児童、生徒の社会福祉に対する関心や、思いやり、奉仕する心を育て、地域社会全体に福祉の輪を広げ、福祉のまちづくりの推進を図るため、小・中学校への支援を行う。(1校あたり20,000円の助成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4校 計 79,950円の助成 <p>富岡小学校 前川小学校 川崎第二小学校 富岡中学校 (P30 参照)</p>	
7.キャップハンディ体験・福祉施設体験学習会	<p>小・中・高校生を対象に、校内福祉学習会、福祉の現場でのボランティア活動体験をとおり、社会福祉の理解を深めると共に、地域で活動するボランティアの育成を図る。</p> <p>1)キャップハンディ体験内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車イス体験、片マヒ体験、視覚障害体験、聴覚障害体験、福祉についての話など ・前川小 7/3 (全校児童を対象) ・富岡小 12/3、6 (3年生を対象) ・第二小 11/28 (全校児童を対象) ・川崎小 6/6 (6年生を対象) <p>2)デイサービスセンター利用者との交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二小 6/20、9/13、27 (全児童) ・前川小 11/13、19、21 (全児童) ・川崎小 2/6 (6年生) <p>3)川崎児童教室との交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーマジックショー(福祉センター) 8/19 <p>4)福祉体験学習の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み福祉体験「火おこし体験をしながらご飯を作り、手作りおやつ作り」(福祉センター) 8/2 参加者 13名 ・冬休み福祉体験「サバイバルメニュー作り、キューブキャンドル作り」(福祉センター) 12/24 参加者 18名 <p>5)福祉教育推進研修等</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・福祉学習カフェ in しばた(柴田町) 7/1 ・秋ボランティア福祉体験スペシャル(柴田町)10/23 (P29 参照) 	
8.ボランティア団体等活動支援	<p>研修事業、運営支援</p> <p>1)川崎町ボランティア友の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事会 4/25 ・総会 5/10 ・役員会 4/25、7/24、9/19、3/7 ・定例活動会 4/10、6/10、7/10、8/9、9/11、10/10、11/8、12/12、1/10、2/7、3/7 ・「お茶っこ飲み会」一人暮らし高齢者を対象(福祉センター) 6/10、7/10、8/9、9/11、10/10、11/8、12/12、1/10、2/7、3/7 ・宮城県身体障害者福祉大会への協力(大河原町) 6/22 ・上下流交流事業への協力(自然共生園) 7/5 ・キャンドル作り(福祉センター) 8/6 ・ボランティアサマーフェスタ(福祉センター) 8/24 ・9.1 川崎町総合防災訓練へ参加(B&G 海洋センター) 9/1 ・ボランティア活動組織運営研修会(仙台市) 9/27 ・青根温泉感謝祭への協力(青根温泉) 10/13 ・視察研修(石巻市) 11/14、15 ・ボランティア団体等情報交換会への参加(福祉センター) 12/25 ・スノーバスターズ(昼食作り)への協力(福祉センター) 2/11 ・災害時に関する研修会への参加(福祉センター) 3/10 ・有償ボランティア活動(年間) ・ケアネット活動(年間) <p>2)仙南地方ボランティア連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会(村田町) 6/28 ・理事会(村田町) 5/29、9/2、3/26 ・交流研修会(村田町) 10/25 <p>3)宮城県ボランティア協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県ボランティア交流研修会(仙台市) 3/18 	

3. 川崎町共同募金委員会業務

1.共同募金委員会運営	<p>1)共同募金による配分事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学小学生に対し交通事故防止と、防犯対策に「防犯ブザー、笛付蛍光傘」を贈る。 4/8 新入学生 71名に配布 ・住みよい地域づくり支援事業・町内会配分対象事業の決定 支倉上行政区 発電機の配分(現物給付) ・住みよい地域づくり支援事業・町内会配分対象事業 	
-------------	---	--

	<p>へ申請 支倉下行政区 防災備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア・NPO 活動サポート募金助成の申請 ひまわりの会 申請額 200,000 円(決定) <p>2)赤い羽根共同募金運動(10月1日～12月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根募金額 1,465,843 円 <p>3)歳末たすけあい運動(12月1日～31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい募金額 89,113 円 <p>4)県共同募金会議・研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分決定通知書伝達式(仙台市) 4/26 支倉上行政区 発電機配分(現物給付) ・宮城県共同募金会評議員会(仙台市) 3/28 ・川崎町共同募金委員会監事会(福祉センター)5/17 ・川崎町共同募金委員会理事会(福祉センター)5/22 ・赤い羽根フォーラム(仙台市) 9/4 ・市町村会長・役員・局長会議(仙台市) 2/13 ・赤い羽根大会(仙台市) 11/22 1名受賞 宮城県共同募金会長感謝状 県共募役員… 菅原 英男 氏 ・事務会計担当者会議(仙台市) 3/6 ・市町村共同募金委員会担当者ミーティング(仙台市) 7/23、11/6 <p>5)配分調査委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳末たすけあい配分委員会(福祉センター) 12/20 <p>6)広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「赤い羽根だより」発行 11/1 (P31～P33 参照) 	
--	---	--

4. 福祉団体支援業務

事業名(実施日)	内 容	備 考
1.身体しょうがい者福祉協会支援	<p>1)川崎町身体しょうがい者福祉協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事会(福祉センター) 5/14 ・役員会(福祉センター) 5/14 ・総会(福祉センター) 5/17 ・体育大会の練習(福祉センター) 7/24 ・しょう連協移動研修会(山形県) 10/8 ・福祉のつどい(福祉センター) 台風の為中止 ・宮城県障害者パークゴルフ交流大会(大衡村) 10/31 ・身しょう者のつどい(福島県) 11/20、21 ・カラオケ交流会(カラオケ家ししなご) 大雪の為中止 ・宮城県身体障害者福祉大会(大河原町) 6/22 <p>2)宮城県身体障害者福祉協会仙南地方連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事会(大河原町) 4/23 ・理事会(大河原町) 4/23、7/2、2/17 ・総会(大河原町) 5/13 <p>受賞者:会長表彰 大宮 幸夫 氏</p>	

	<p>会長感謝状 大宮 光夫 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙南身障体育大会の準備(蔵王町) 7/30 ・第50回仙南身障体育大会(蔵王町) 7/31 ・役員・相談員・指導者研修会(山形県) 9/2、3 <p>3)宮城県身体障害福祉協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村会長・事務担当者合同会議(仙台市) 4/26 ・沿岸部市町村身障協会支援会議(柴田町) 2/7 ・宮城県身体障害者福祉大会第2回実行委員会(大河原町) 5/16 	
2.遺族会支援	<ul style="list-style-type: none"> ・春季大祭(護国神社) 4/30 ・監事会(福祉センター) 8/2 ・遺族会総会(福祉センター) 8/2 ・役員会(福祉センター) 8/2 ・市町村支部長・単位遺族会長・担当者合同会議(松島町) 7/2 参加者なし ・全国戦没者追悼式(東京都) 8/14 参加者なし ・常盤台霊苑清掃奉仕(仙台市) 6/2 2名参加 ・秋季大祭(護国神社) 10/ 参加者なし 	

3). 福祉サービス利用支援事業

1.福祉サービス利用支援

事業名(実施日)	内 容	備 考
1.日常生活自立支援事業(まもり一ぶ) ・成年後見制度の推進	<p>認知症高齢者、知的障害者等の保護と権利を守るため日常生活自立支援事業、成年後見制度の普及、推進を図る。金銭管理、金融機関からの引下ろし支払い、財産管理。</p> <p>1)まもり一ぶ契約利用者 1名(軽度知的障害者) ○研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員全体研修会(仙台市) 7/19 ・地域別研修会(柴田町) 1/16 <p>2)成年後見(町長申立) 2名(被成年後見人1名、被保佐人1名) 金銭収支計画・管理、家裁との調整・報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に状況訪問(大和町) 4/22、5/23、6/20、7/18、8/12、9/18、10/17、11/18、12/19、1/17、2/19、3/17 	
2.ケアネット活動	<p>子供からお年寄りまで、個々に必要なサービスを地域住民で支えあい、安心して暮らせるような、あったかい地域づくりを目指す。</p> <p>1)有償ボランティア活動(調理、掃除、窓拭き、整理整頓、草むしり等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 6名 75回稼働(4月～3月) <p>(P22 参照)</p>	

3.生活福祉資金／生活安定資金の貸付事業	<p>1)生活福祉資金(宮城県社会福祉協議会での貸付) 低所得世帯及び身体障害者世帯等の自立更生の促進を図るため、県社協の委託を受け実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 8件 ・生活福祉資金貸付 <ul style="list-style-type: none"> (1)長期生活支援資金貸付 1件(貸付中) ・生活福祉資金貸付償還中 <ul style="list-style-type: none"> (1)生活福祉資金・更生資金技能習得費 1件 (2)修学資金 1件 (3)福祉費 1件 (4)緊急小口資金 44件 ・生活福祉資金貸付償還済 <ul style="list-style-type: none"> (1)緊急小口資金 8件 <p>2)生活安定資金(川崎町社会福祉協議会での貸付) 低所得世帯の一時資金として、無利子で50,000円までの貸付を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活安定資金貸付 2件 ・生活福祉資金調査委員会(福祉センター) 3/20 <p>3)生活相談所運営(生活相談員3名による相談業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談所の開設(毎週水曜日開催予約制) 	
4.居宅介護支援相談	<p>介護相談と介護支援(随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談 7件 ・終了者 7件(死亡や施設入所による) 	
5.苦情受付、解決窓口の開設	<p>苦情解決の責任者及び受付担当者を置き、中立、公正な第三者委員とともに、常に、その提供するサービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの苦情解決に関する研修会(仙台市) ・苦情受付(介護保険事業所による苦情) 3件 	

4). 在宅福祉サービス事業

1. 在宅福祉サービス

事業名	内容	備考
1.重度障害者介護機器の貸出(年間)	<p>重度身障者、高齢者の方々に対し、冠婚葬祭・小旅行など短期間使用する際、車イス、補聴器等福祉機器の無料貸出を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車イス 7件 ・補聴器 0件 	
2.介護者支援事業(年間)	<p>1)家族介護者研修交流会事業 介護する家族の交流を図ることにより、高齢者により良い介護を行う。また、介護者のリフレッシュを目的に、一日旅行視察研修を行う介護者のつどいを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護者リフレッシュ事業(松島町) 1/30 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室の開催(福祉センター) 8/4、11/17 ・介護予防フェスティバルへの協力(福祉センター) 11/30 <p>2)介護用品の展示及び購入斡旋 介護用品の展示を行う。(随時対応)</p> <p>3)介護サービスに関するパンフレットの発行 パンフレットを作成し、福祉制度、介護法等最新の情報を提供し介護負担の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域推進員によるパンフレット発行 11/30 	
3.配食サービス(受託)	<p>一人ぐらし高齢者や老人世帯等を対象に、栄養のバランスを考えた食事を提供することにより、健康増進と状態・安否確認し、月～金曜の昼食、夕食を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者 7世帯 ・高齢者世帯等 9世帯 ・(4月～3月 2,318食) <p>(P34 参照)</p>	
4.福祉有償運送(高齢者・障害者移送サービス)(受託)	<p>在宅での支援を目的に、重度の障害者、ねたきり老人、介護保険で認定を受けた利用者等(主に介護度 1～5)を対象に町内 外の診療、入院の際に移送サービスを行う。利用件数 118件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者 78名(身体障がい者 12名、要介護者 63名、要支援者 3名) ・車いす対応車輦での利用 89件 ・ストレッチャー対応車輦での利用 29件 <p>○研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部研修「介護予防について」(福祉センター)6/18 ・福祉有償運送運転者代替講習(柴田町) 11/4 ・安全運転研修(講師:大河原警察署交通指導係長)(福祉センター) 11/25 ・内部研修「移送事業について～実践研修～」(福祉センター) 12/5 <p>(P35 参照)</p>	

2. 介護保険・障害者自立支援事業

事業名	内容	備考
1.介護保険事業による居宅サービス	<p>1)居宅介護支援事業(ケアプラン作成)月～金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月平均 73名 ・介護予防ケアプラン 9名(町からの受託) <p>2)通所介護、介護予防通所介護サービス(デイサービス)月～土</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日平均 33名 ・登録者 82名(要介護 74名、要支援 8名) <p>3)訪問介護、介護予防訪問介護サービス(ホームヘルパー)年中無休</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・1日平均 9名 ・登録者 18名(要介護 17名、要支援 1名) (P36～P37 参照) 	
2.障害者自立支援法等障害者支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1)基準該当障害者デイサービス <ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし 2)居宅介護事業(ホームヘルパー) <ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし 	
3.介護体験実習生の受入・協力	<ol style="list-style-type: none"> 1)柴田農林高等学校川崎校の授業の一環で「家庭看護・福祉」への協力。5名 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉の事業・サービスを知る」講義 5/30 ・「利用者や家族から信頼されるには」講義 6/3 ・「デイサービスの内容を知る」講義 10/24 ・「身体介護の方法を知る」実技・演習 11/18 ・デイサービスセンターでの実習 11/25、12/2、1/23 2)教員免許法の特例による「介護等の体験」の受け入れを行う。デイサービスセンターでの実習。 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城教育大学 1名 7/15、16、17、18、19 3)宮城県介護員養成研修実習生の受け入れを行う。ホームヘルパー講座での訪問介護の実習。 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度受け入れなし 4)町内中学校の授業の一環で「職場体験」への受け入れ協力。 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎中学校 2名 7/3、4、5 	